

令和元年 11 月 29 日

守谷市議会

議長 梅木 伸治 様

委員会名 保健福祉常任委員会

委員長名 高梨 恭子

守谷市議会一般会議を下記のとおり開催しましたので報告いたします。

記

1 開催日時	令和元年 11 月 28 日 午後 3 時～午後 4 時 20 分
2 開催場所	第一委員会室
3 議 題	守谷市シルバー人材センターの現状と要望について
4 出席委員名	神宮、山田、高橋、川名、末村、高梨（恭）、 ※梅木議長挨拶
5 参加市民の範囲 及び参加人数	公益社団法人守谷市シルバー人材センター（5名） 高力理事長、松本事務局長、菅原副理事、渡部理事、 滝沢理事 ※議題との関係など（又は団体名、代表者名など）

【主な発言要旨】

松本事務局長：守谷市シルバー人材センターについての説明。

地方公共団体（守谷市）及び国庫による補助金をそれぞれ 300 万円ずつ、年間いただいている。また、就業支援等も頂いている。

平成 31 年 3 月末の会員数は 404 名、平均年齢 71.8 才、事業規模は約 1.9 億円。

事務所・敷地は公有財産使用許可により無償で市からお借りしている。

守谷市との契約実績は平成 30 年度で 25 件約 4600 万円と全体の 213%となっている。また大型店舗からの依頼も多い。

現状において、県内市町村の中でも、市からの補助金が少なく（市の補助金以上の国庫補助は認められない）、事務局業務も煩雑で運営が大変である。等々。

質疑や意見

- ・シルバー人材への登録時の資格や手続きやについて。

60 才以上で、反社会的でなく健康で働ける方。1200 円の年会費と 300 円の親睦会費の合計 1500 円/1 年が必要。月 2 回説明会を行っている。対象物等を壊してしまったなどの場合の保険にも加入している。

- ・新規の取り組みについて。

現状、剪定や草刈りなどの仕事依頼は増えているが人材は減少している。

防犯（学童の登下校時の見守り・空き家の見守り）や福祉にも取り組み始めた。

- ・事務局の体制について。

理事や事務局も時給の手当しかなく、将来的に、若手プロパー職員を雇うとなると、市の補助金に頼るしかないと思われる。

- ・今後について

高齢会員が、仕事で失敗したことや合う仕事がない事を理由に辞めていくが、親睦会だけでも参加してもらい会員継続していて欲しいと考えている。

また、現在の事務所の場所が用途地域に反するという事で、移転を考えざるを得ない。

以 上